

平成30年度あやせババール園事業計画書

1. 施設理念

- ・ 其々の個性を尊重し、多様で豊かな生活経験を積み重ね「たくましく生き抜く力の基礎を育む」保育に努め、地域社会から信頼される保育園をめざします。

2. 施設方針・テーマ

- ・ 子ども一人ひとりを大切にし、子どもの発達と個性を認め、自信をもって意欲的に生活できるよう援助します。
- ・ 家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、保護者の抱く子育て不安や孤立感を受け止め、保護者が子どもと向き合い、成長の喜びを感じられるよう、子育て支援に努めます。
- ・ コンプライアンスを徹底するとともに、人権を尊重し安心できる環境づくりに努めます。

3. 実施事業及び定員

(1) 保育所 定員 103名

(0歳児→6名、1歳児→10名、2歳児→12名)

3歳児・4歳児・5歳児各25名)

(2) 特別保育事業

発達支援児保育事業

延長保育事業

年末保育事業

パートナー保育事業

一時預かり事業

4. 重点目標

- ・家庭や地域と連携し、こころもからだも健やかで、豊かな感性を持ち、自分も周りの人も大切にできる子どもを育てていきます。

☆基本的生活習慣（健やかに伸び伸びと育つ）

- ・のびのびとからだを動かし、元気いっぱい遊びます。
- ・食への興味・関心を育みます。
- ・見通しを持って自ら行動する力を育みます。

☆他者とのかかわり（身近な人と気持ちが通じ合う）

- ・様々な人との交流を大切にします。
- ・友だちと関わる中で、互いの思いや考えなど共有できる関係を築きます。
- ・人と心を通わせるなかで、豊かな言葉や表現を身に付けます。
- ・遊びや生活を通して、社会生活に必要なルールやマナーを身につけます。

☆学びの芽生え（身近なものに関わり感性が育つ）

- ・自然と触れ合う機会をたくさん作ります。
- ・遊びや生活の中での「気づき」を大切にします。
- ・数量や図形、標語や文字などに親しむ体験を重ねていきます。
- ・自分で考え自分でやってみる経験を通し、自信を持てるようにします。
- ・体験や出会いを大切に心が動かされる機会を作ります。

（１）利用者へのサービス提供

- ◆子どもが本来持っている豊かな感性や主体性・成長しようとする力を育むために、発達や学びの連続性を踏まえて質の高い養護と教育を一体とした保育を行う。
- ◆体験を通した人格形成の基礎づくり（基本的生活習慣の確立・豊かな感性と創造性・規範意識の芽生えを培う）
- ◆施設交流・地域交流を通して豊かな心・思いやりの心を養う。

（２）施設・設備整備

- ◆備品の確保
- ◆園内外の管理（園庭整備・快適環境の整備他）
- ◆遊具・玩具等の点検実施（毎日）
- ◆安心・安全な施設整備を目指す。

（３）施設管理

- ◆個人情報保護法、児童虐待防止、児童福祉法等コンプライアンスの徹底。
- ◆感染症予防対策委員会の充実、安全及び衛生管理（温度・室温・換気・採光・感染症等）保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。
- ◆防災・消火訓練を年間１２回、防犯訓練を年４回実施する。
- ◆ヒヤリハット活用は年間目標１００枚、事故防止に対する職員意識を高める。

（４）職員管理

- ◆保育園の方針を明確にし、子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うと共に、保育内容の改善等に取り組み、共通理解や協働性を高め保育の質の向上に努める。
- ◆自己評価に基づく課題等を踏まえ、内外部研修会に参加し、保育技術など専門性を高め、一貫性・連続性のある保育の実践に努める。
- ◆職員間の連携・情報共有の場（クラス会・全体会・３歳以上児担当者会・３歳未満児担当者会等）を確保し、内容の充実を図る。
- ◆コミュニケーションを良好にするため、「報告・連絡・相談」の励行や交流会等を行う。

（５）経営管理

- ◆入所児数を確保すると共に、職員一人一人がコスト意識を持って行動する。
- ◆運営会議の充実を図り全体会にて全職員共通理解のもと実施する。

（６）地域との連携

- ◆高齢者施設・保護者と連携し、計画的交流の充実を図る。
- ◆近隣の保育園や小学校との計画的交流、広報誌や園だよりの配布を実施し、地域との連携を図る。
- ◆関係機関と連携・協力し、様々な子育て家庭への支援を図る。
- ◆地域の子育て家庭を対象としたパートナー保育を実施する。

（７）新規事業（一時預かり事業）

- ◆一人一人の子どもの心身の状態などを考慮すると共に、日常の保育との関連に配慮し、地域の子どもの保育を行う。